

令和6年度第2回しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会 意見対応表

通番	資料	頁	項目	意見	第3期総合戦略(素案)への反映等
1	資料3 第3期しあわせ実感 かかみがはら人口 ビジョン・総合戦略 (素案)	26	4.人口の 将来展望	重要度が高いのに満足度が低いものとして、社会保障、公共交通、雇用などがある。公共交通に関しては、資料2(デジタル田園都市国家構想交付金事業等効果検証シート)では非常に好評という評価をしており、また、雇用の政策の方も順調と評価しているが、市民意識と違うのではないか。この辺りはどのようにKPIを作ってその評価をしているのか。	まず、第1回懇話会でお示した「デジタル田園都市国家構想交付金等効果検証シート」は、交付金を活用したデマンド型交通「チョイソコかかみがはら」に関連する事業の評価です。 その一方、市民意識調査の結果は、公共交通全般に対する市民の評価と捉えています。したがって、一概に比較はできないと考えておりますが、公共交通に対する満足度が低いことについては重く受け止めており、今後とも、市民、利用者の方々と対話し、交通事業者や関係機関と連携しながら、本市の公共交通の利便性の向上、その満足度の向上に努めてまいります。 また、「雇用」なども同様に、KPIの評価と市民意識調査の結果は一概には比較できないと考えていますが、KPIは、施策の目的を達成するための事業との直接性のある効果を表す指標を選定することが重要であり、第3期総合戦略(素案)でも、第2回懇話会でお示した「第3期総合戦略数値目標設定シート」、「第3期総合戦略KPI設定シート」に記載の考えの下、新たなKPIを設定しています。
2	資料3 第3期しあわせ実感 かかみがはら人口 ビジョン・総合戦略 (素案)	47	7.施策体系	総合戦略のメインターゲットとして、中京圏在住の市外住民と書いてあるが、おそらく今は何となく流れている方が中京圏に多いだけであって、各務原市が選ばれているわけではないと思っている。各務原市を全国から選ばれるまちにしていきたいと思っており、会社の魅力をさらに外に発信できれば、それが求人に繋がり、移住に繋がると考えている。	総合戦略のメインターゲットにつきまして、これまでの移住者の傾向を踏まえ、中京圏への取組は強化しますが、ご意見のとおり、本市をより広くPRすることは重要であることから、下記のとおり修正しました。 ●「メインターゲット<まち><にぎわい>」 ・修正前:中京圏在住の市外住民 ⇒ 修正後:中京圏を中心とした市外住民
3	資料3 第3期しあわせ実感 かかみがはら人口 ビジョン・総合戦略 (素案)	53	9.施策と 主な取組	結婚する人が少なくなっていることについて、大学の授業でも議題に上がり、結婚したいかしたくないかのアンケートも実施された。結果としては、結婚したくない人が多く、その理由としては、1人の方が楽という意見や、女性の意見では、働きたいこと、縛られたくないこと、いい人がいないこと、出会いがないことなどの意見があり、結婚に対して積極的な意見があまりなかった。各務原市が出会いの場としてカフェなどをやっていると思うが、結婚に対して積極的ではないため行かない。	本市では、結婚を希望する方に対する婚活支援として、令和6年度に、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館において、婚活イベントを開催するなど、婚活支援の充実を図っています。 また、第3期総合戦略(素案)では、下記に関連する内容であると考えており、特に、若い方のご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ①未来を支える「ひと」づくり<子育て・教育> 施策の柱 1. 結婚・妊娠・出産 施策 (1)出会いの機会の創出 重点施策 ◎出会いの機会の創出
4	資料3 第3期しあわせ実感 かかみがはら人口 ビジョン・総合戦略 (素案)	68	9.施策と 主な取組	高校生の就職先を決める際に、親の意見が8割から9割だと聞く。県内の高校などを卒業する際に、やはり親の意見が強いので、どうしても愛知県の手順の自動車関係などに就職する方が多い。それを考えると、まず我々の感覚を変えていく必要があると思う。そういった点では、このテクノプラザで実施された、企業を知っていただくという取組は、お子さんに対して知っていただく機会であるだけでなく、親に対しても、地元の企業を知ってもらいたい機会だと思う。親が地元の企業に子どもを就職させたいと思うような取組が重要になってくると感じる。雇用と人口は切っても切れない関係であり、働きたい場所があり、そこで働けばそこに住みたくなるという循環になっていくと思うため、雇用という点を中心に考えていく必要があると思う。	本市では、令和6年5月に岐阜工業高校にて、令和6年11月に各務原西高校にて、生徒の保護者を対象に、子どもの進路を考える際の保護者の役割や「ジモト優良企業」の見つけ方などを内容としたセミナーを開催しました。 第3期総合戦略(素案)では、下記に関連する内容であると考えており、ご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ②いきいきと働ける「しごと」づくり<産業・雇用> 施策の柱 1. 産業 施策 (1)雇用・就労 重点施策 ◎雇用対策の強化
5	資料3 第3期しあわせ実感 かかみがはら人口 ビジョン・総合戦略 (素案)	70	9.施策と 主な取組	雇用に関わる学習として、高校生、大学生のマッチングに関する記載があるが、もう少し小さい子たちにも広げられないかと思っている。学びの先には労働があるという意識が皆さんに無いが、何のために学ぶかと言えばやはり働くことや生活に繋げるための学習だと思う。中学生や大学生は、もうある程度考え方が出来上がっていると思うが、それを広げるためには小さい頃からの教育が必要だと思うため、どこかにそういう記載があるといいと思う。	本市では、小中学生を対象に市内の優れたものづくり企業を知ってもらうため、企業の見学等を行う「ものづくり見学事業」を実施しています。 また、第3期総合戦略(素案)では、下記に関連する内容であると考えており、特に、若い方のご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ②いきいきと働ける「しごと」づくり<産業・雇用> 施策の柱 3. 人材育成 施策 (1)次世代を担う人材の育成支援 重点施策 ◎次世代を担う人材の育成支援

通番	資料	頁	項目	意見	第3期総合戦略(素案)への反映等
6	資料3 第3期しあわせ実感 かかみがはら人口 ビジョン・総合戦略 (素案)	74	9.施策と 主な取組	「文化芸術・スポーツ活動の充実」の現状と課題や重点施策で、できれば変更してほしいという意見がある。生涯学習について、ここに記載されている内容は、生涯学習を多くの市民の方に活用していただくという方向で記載しているが、岐阜県の生涯学習の指針で示されているものとして、個の学びというのはそれぞれに任せて、自治体に取り組むべきものとして、地域づくりに繋がる生涯学習が求められている。そのため、地域づくり型生涯学習をここに盛り込むことで、まちが良くなっていくための生涯学習を目指していきたいという考えがある。	第3期総合戦略(素案)では、下記に関連する内容であると考えており、ご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ③魅力と安心の「まち」づくり<魅力向上> 施策の柱 1. 魅力向上 施策 (2)文化芸術・スポーツ活動の充実 重点施策 ⑥多様な生涯学習機会の創出と学びの成果の活用
7	資料7 第3期総合戦略KPI 設定シート	2	KPI	ふれコミ隊の指標の基準がよくわからない。10回以上活動に参加する人の指標が、基準値が6.9%で目標値が10%となっていることについて、ふれコミ隊での活動は年間どれくらいあるかわからないが、多く積極的に参加する学生の数より、平均何回という指標を設定した方がいいのではないと思う。	ご意見を踏まえ、青少年の地域活動等への参加割合により施策の進展を測ることとし、KPIを「ふれコミ隊加入者率」に変更しました。 ●ふれコミ隊加入者率 基準値(R5):7.6%、目標値(R11):8.0%
8	—	—	—	都市間競争を勝ち抜く必要があると思う。そのためには、やはり住環境であり、公園や小中学校、幼稚園の充実などだが、それはもう各務原市はできていると思う。それから、交通網も充実しているが、唯一遅れていると思うのは、働く場所が周辺の市の大きい工場などに流れていることである。働く場所があるということは、人口を増やしていくための一つのキーワードだと思う。	ご指摘にある「働き場所の確保」につきましては、本市でも重要課題の一つと考えております。 第3期総合戦略(素案)では、下記項目に関連すると考えており、特に、若い方のご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ②いきいきと働ける「しごと」づくり<産業・雇用> 施策の柱 1. 産業 施策 (1)工業の進行 重点施策 ⑥企業の誘致と競争力向上 戦略目標 ②いきいきと働ける「しごと」づくり<産業・雇用> 施策の柱 1. 産業 施策 (1)雇用・就労 重点施策 ⑥雇用対策の強化
9	—	—	—	駅の近くや21号沿いは夜でも店などが多くあり明るい、私の住んでいる場所は、駅から離れると街灯が少なく、冬の時期だと17時でも暗い。子どもが遊んだ帰りなど、街灯がないことで危ないと感じることがある。実際に自転車同士での事故を見かけたりするため、ぜひ検討してほしい。また、信号のない交差点のカーブミラーが、雨の日や寒い日は見づらい。	防犯灯は、自治会からの要望により設置が可能な場合がありますので、お住いの自治会長にご相談ください。 ※上記内容については、前回の懇話会后、土田自治会連合会長にご助言をいただき、まちづくり推進課にて対応済みです。
10	—	—	—	1. 各務原市というブランド力アップ(アイキャッチ)が必要。 木曽川前渡南公園→「Kakamigahara わたしの PARK」このような感覚は続けてほしい。 この公園から5年後10年後、オリンピックのBMX選手がここで練習したという状況が目に見えればビジョンを是非実施していただきたい。 そのためのPRや定期的なイベント、どこかとコラボしたコンテンツなどうまく活用できる事を願います。 以下はご存じかと思いますが、ネーミングが楽しく個性のある観光地という感覚になりSNSなどで拡散されると思います。 ・川辺町のグランドキャニオン https://www.kawabe-gifu.jp/?page_id=39313 ・岐阜のマチュピチュ https://www.town.gifu-ikeda.lg.jp/kankou/0000001278.html チョイソコなどは高齢者の足となる。 犬山市の城下町から鵜沼へ観光人が流れてくるしくみなどみんながつながる(地域がつながる)中心になってほしいです。	第3期総合戦略(素案)では、下記項目に関連すると考えており、ご紹介いただきました他自治体の事例などを参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ④人の流れを生み出す「にぎわい」づくり<発信・誘客> 施策の柱 1. 発信・誘客 施策 (2)観光資源等の活用と効果的なPR 重点施策 ⑥観光資源の充実
11	—	—	—	2. チョイソコなどは定期的にイベントを実施し、利用者がさらに利用したいと思えるようなコンテンツを行っているのも素晴らしいことだと思います。もっと有効利用できると思います。 チョイソコとかぶってしまいましたが、鵜沼エリアの高低差をどう活用するかアイデアがあると活性化したいと思います。 https://www.city.kasugai.lg.jp/shisei/machi/new_town/1022354/1024425/index.html (春日井市:自動運転に関する取組)	第3期総合戦略(素案)では、下記項目に関連すると考えており、自動運転技術の進歩や他自治体での導入状況などを参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ③魅力と安心の「まち」づくり<魅力向上> 施策の柱 2. 安全・安心 施策 (2)良好な生活環境の整備 重点施策 ⑥公共交通ネットワークの維持

通番	資料	頁	項目	意見	第3期総合戦略(素案)への反映等
12	—	—	—	3. 古田さんの発言がとてもささりました。 親のエゴではなく、素直な学生の生活をイメージしてみると何かが見えてくるかもしれないですね。	本市では、令和6年5月に岐阜工業高校にて、令和6年11月に各務原西高校にて、生徒の保護者を対象に、子どもの進路を考える際の保護者の役割や「ジモト優良企業」の見つけ方などを内容としたセミナーを開催しました。 第3期総合戦略(素案)では、下記に関連する内容であると考えており、ご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ②いきいきと働ける「しごと」づくり(産業・雇用) 施策の柱 1. 産業 施策 (1)雇用・就労 重点施策 ◎雇用対策の強化
13	—	—	—	4. 人口減少について 各務原市の問題は他の市町と比べると幸せな方かと感じます。 ・弊社のサービスエリアである白川町 https://gifu42.net/interview/mayor/sirakawa/ もっと深刻でいろんな取り組みをしています。 弊社も2年間協力してまいりました。 https://www.town.shirakawa.lg.jp/chousei/machizukuri/1002583/1002570/index.html (白川町:名古屋市立大学経済学部と株式会社コミュニティネットワークセンター産官学連携) また、高齢者問題に対して https://www.town.shirakawa.lg.jp/chousei/machizukuri/1002135/1002666.html (白川町:【新たな返礼品】CCNet 見守りプランしらかわ について) 引き続き、eスポーツや高齢化への対応など通信や放送以外でもご協力させていただきますのでよろしくお願いします。	人口減少が進む中、限られた行政資源(人・予算)で各種施策を推進するために、民間企業との連携など、民間活力を活用することはますます重要になると考えており、令和7年1月に、「各務原市包括連携協定ガイドライン」を策定しましたので、ぜひご検討いただきたく存じます。
14	—	—	—	(1)市内の企業をもっと紹介してはどうか はいてくヒルズの工場見学とワークショップの報告は、非常に参考になりました。以前の懇談会で開催したいと発言されていましたが、それをさっそく実現されたことに敬意を表します。懇話会でも発言しましたが、市内には10+テックフォルデの工業団地や、単独で特色のある工場(岡本の美術館、エーザイの博物館など)がいくつもあり、どのような製品や技術を持っているのか、あまり知られていないように思われます。木材団地(広葉樹の市場、ワークショップも)のことなども聞きました。犬山市の商工会議所には、同市内の工場の製品が陳列されています。関市では工場参観日もあり、リトルクリエイティブセンターも支援しているようです。同じような課題を持っている関市、美濃加茂市、(可児市)などの連携もできるかもしれません。県内一の工業生産を誇る各務原市ですので、産業・農業祭やオープンファクトリー(11月4日)の時だけでなく、子供たちへ紹介や採用活動にも活かせるといいのではないのでしょうか。	本市では、市内企業の採用計画やインターンシップの受入計画などの情報をまとめた「各務原市企業ガイドブック」や「各務原市で働くこと」を切り口に、市内でいきいきと働く人たちを紹介する「キャリアデザインマガジン」を作成し、市ウェブサイトで公表しています。 また、市の原動力である優れた企業活動を紹介することで、子どもたちの地域への郷土愛や誇りを形成する場を設けるとともに、子どもたちに夢や目標をもって成長するきっかけづくりを目的として、「ものづくり見学事業」を実施しています。令和6年度は、小学生5、6年生向けに4コース(医療産業コース・航空産業コース・生活／自動車産業コース・お菓子産業コース)、中学生向けに1コース(航空産業コース)を実施しました。令和6年11月4日に開催した「かかみがはらオープンファクトリー」でも、多くの小中学生にご参加いただきました。その他、高校生や大学生を対象に、市内企業見学バスツアーを実施し、市内企業の魅力を直接肌で感じてもらう取組も行っています。 第3期総合戦略(素案)では、下記項目に関連すると考えており、参加者や企業のご意見、ご紹介いただきました他自治体の事例などを参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ②いきいきと働ける「しごと」づくり(産業・雇用) 施策の柱 3. 人材育成 施策 (1)次世代を担う人材の育成支援 重点施策 ◎次世代を担う人材の育成支援
15	—	—	—	(2)超長期的な人口推計をめぐって 岐阜県の人口減少問題研究会(12月)の報告書では、2100年までの推計も行われています。しかし、特殊出生率や社会移動については楽観的な条件の設定になっています(p.147-8)。 これも懇話会で述べましたが、今後あと10～20年で団塊の世代の生残率は一気に下がり、さらに40～50年後はそのジュニアも寿命に達していきます。団塊の世代は既に定年後ですが、20年後には現在の就業人口の主力となっているジュニア層もまた退職を迎えます。労働力の不足は構造的な問題を抱えることになります。三世目では、すでの女性・男性ともに福祉や流通業に就いています。また、外国籍市民の流入も、円安などの賃金格差の縮小のために難しくなってきています(すでにベトナムは急減したようです)。シビアな方からの検討課題ですが、こうした点も抑えて置くべきかと考えられます。	本市の人口動向分析・将来人口推計につきましては、国立社会保障・人口問題研究所の推計を基本としております。ご意見につきましては、今後、人口減少対策を検討する際の参考とさせていただきます。
16	—	—	—	(3)女性や若い人たちの意見も 若年女性の流出を取り上げています。懇話会に大学生も参加してもらいましたが、中高生のワークショップやアンケートも総合計画ではやりましたし、地方創生の方でも多世代、女性、外国籍市民などから多様な意見と交流ができるといいですね。岐阜市の総合計画(2013年)では「市民討議会」方式で、メンバーを多様化したワークショップを行い、高校生が活躍していました。	新しい「総合計画」の周知啓発とまちづくりへの関心を高めるため、令和7年度に、幅広い世代の市民が気軽に参加できるワールドカフェ形式の意見交換会を開催する予定です。

通番	資料	頁	項目	意見	第3期総合戦略(素案)への反映等
17	—	—	—	(4)国の地方創生の新しい方針を受けて 12月に発表された国の地方創生2.0では、以下のような記述があります。すこし柔らかい表現になってきていますが、各務原市が新しい総合計画で掲げている方向と合ってきていますね。 「一方、国民の持つ価値観が多様化する中で、多様な地域・コミュニティの存在こそが、国民の多様な幸せを実現する。そのためには、一人ひとりが自分の夢を目指し、「楽しい」と思える地方を、民の力を活かして、官民が連携して作り出していく必要がある。「都市」対「地方」という二項対立ではなく、都市に住む人も、地方に住む人も、相互につながり、高め合うことで、すべての人に安心と安全を保障し、希望と幸せを実感する社会を実現する。」 ○これまでの10年間では本格的に取り組んでこなかった「若者・女性にも選ばれる地方(＝楽しい地方)」をつくることを主眼とする。 今尾さんに報告してもらいましたが、すでに暮らし委員会やマーケット日和、那加のまちづくりでは、こうした動きが出てきています。参考資料でいいので、VRテクノや那加のまちづくりの資料も添付されてはどうでしょうか。	令和6年12月24日に、国が『地方創生2.0の「基本的な考え方」』を決定したことに伴い、第3期総合戦略(素案)に、新たに「5. 基本方針 (2) 地方創生2.0」の項目を設け、「地方創生2.0の基本構想の5本柱」について記載しました。 今後は、令和7年夏に、国より「今後10年間集中的に取り組む基本構想」が示される予定となっており、その時点で、あらためて、総合戦略の見直しについて検討したいと考えております。 なお、VRテクノセンター及び那加地区のまちづくりに関する資料につきましては、市ウェブサイトにて公開します。
18	—	—	—	未来の各務原市のため、市が多くの施策を実施するに当たって、KPIを設け評価しながら先に進む手法はすばらしいと思いますが、どうしても定量的な評価になり易く、また、基準値が適正でない場合は評価にも影響がでてしまいます。市民意識調査などを利用し、定性的な評価をコメントなどからくみ取って、さらに施策の効果を正しく評価し、次の施策に生かしていったほしい。	総合計画における達成指標は、「施策」ごとに主観的指標、「取組方針」ごとに客観的指標を設定しており、市民満足度調査等も活用しながら、取組の達成状況を確認することとしております。 総合戦略では、国の示す「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」において、「客観的な指標を設定することが適切である」と示されていることから、原則として、定量的な指標を設定しているところですが、その推進におきましては、市民満足度調査の結果も参考にしながら、事業効果の検証を行い、必要に応じて、施策の見直しに努めてまいります。
19	—	—	—	働く人が休日や夜、昼に過ごす場所が少ないので、各務原で住みたいという気がするためには、Park構想のように回遊できる場所づくりも大切。	第3期総合戦略(素案)では、下記項目に関連すると考えており、ご意見を参考にしながら、施策の推進に努めてまいります。 戦略目標 ③魅力と安心の「まち」づくり〈魅力向上〉 施策の柱 2. 安全・安心 施策 (2)良好な生活環境の整備 重点施策 ④魅力的なまちの創出